

会社概要

会 社 名：エヌシーイー株式会社
創 業：昭和45年1月
資 本 金：4,800万円
代 表 者：代表取締役 大平 豊
本 社：〒950-0954 新潟県新潟市中央区美咲町1丁目7番25号 TEL.025-285-8540
事 務 所：長岡事務所、上越事務所、富山事務所、関東事務所
事 業 登 録：建設コンサルタント登録規定による登録番号：建31第1243号
〔河川、砂防及び海岸・海洋、道路、下水道、都市計画及び地方計画、土質及び基礎、
鋼構造及びコンクリート、トンネル、建設環境
測量業法による登録番号：第(3)-32549号
建築士法による一級建築士事務所 登録番号：新潟県知事登録(口)第4971号
マネジメントシステム認証登録 品質ISO9001 認証番号：MSA-QS-301 環境ISO14001 認証番号：MSA-ES-208
加 盟 団 体：(一社)建設コンサルタンツ協会 (公社)日本技術士会 (一社)新潟県都市整備協会 (公社)砂防学会 (公社)日本河川協会 北陸構造物維持補修技術研究会
そ の 他：新潟県SDGs推進建設企業 登録番号：第26号 新潟市環境優良事業者(3R推進部門) 認定番号：第63号
ハッピー・パートナー企業 登録番号：第799号



本社社屋

沿 革

昭和45年2月 日本都市開発株式会社設立、新潟市寄居町平久ビル内
昭和46年7月 新潟市本町通7番町1154番地(風間ビル内)に所在地変更
昭和49年4月 新潟市西大畑町5220番地(ニューニイガタビル内)に所在地変更
昭和49年5月 パシフィックエンジニアリング株式会社に社名及び組織を変更
昭和63年7月 新潟市綱川原1丁目4番11号に所在地変更
平成10年4月 エヌシーイー株式会社に社名を変更
平成28年5月 新潟市中央区美咲町1丁目7番25号に所在地変更

受 賞 歴

表 彰		
平成27年	平成26年度事業再評価資料作成他業務	国土交通省国営越後丘陵公園事務所長賞
平成28年	鷹ノ巣道路トンネル近接影響検討設計業務	国土交通省北陸地方整備局長賞
平成29年	平成28年度羽越管内道路情勢分析調査業務	国土交通省羽越河川国道事務所長賞
	平成27・28年度栗ノ木・紫竹山道路事業マネジメント業務	国土交通省新潟国道事務所長賞
平成30年	H29栗ノ木・紫竹山道路詳細設計修正業務	国土交通省北陸地方整備局長賞
	平成29年度飯豊管内砂防施設補強対策(漏水)設計業務	国土交通省飯豊山系砂防事務所長賞
令和 元年	やまこし復興交流館おらたるを拠点とした自動運転サービスに係る調査検討業務	
		国土交通省北陸地方整備局長賞
令和 2年	朝日温海道路7号トンネル詳細設計業務	国土交通省北陸地方整備局長賞
	北陸地方整備局設計要領(道路編)改訂業務	国土交通省北陸地方整備局長賞
	平成31年度金沢管内交通量解析等業務	国土交通省金沢河川国道事務所長賞
	平成30年度湯沢砂防事務所管内設計(その3)業務	国土交通省湯沢砂防事務所長賞
令和 3年	令和2年度北陸地方整備局管内溝橋診断等業務	国土交通省北陸地方整備局長賞
	令和2年度長岡国道管内地域活性化支援検討業務	国土交通省長岡国道事務所長賞
令和 4年	令和2年度飯豊山系砂防事務所管内砂防施設外設計(その2)業務	国土交通省北陸地方整備局長賞
	R3新潟国道管内道路ネットワーク検討業務	国土交通省新潟国道事務所長賞
	令和3年度北陸地方整備局設計要領(道路編)改訂業務	国土交通省北陸地方整備局道路部長賞

感謝状		
平成18年	中越地震における災害復旧事業	国土交通省長岡国道事務所長
平成20年	中越沖地震における河川管理施設の被災状況点検調査	国土交通省信濃川河川事務所長
令和 元年	令和元年台風第19号千曲川流域での災害	国土交通省北陸地方整備局長

関連企業

エヌアイティー株式会社
業務内容：ソフトウェアの開発、情報サービス提供及び管理運営等
所 在 地：〒950-0954 新潟市中央区美咲町1丁目8番15号 ホポロ美咲町205号室

NCE エヌシーイー 株式会社

〒950-0954 新潟県新潟市中央区美咲町1丁目7番25号
TEL：025-285-8540 FAX：025-285-3531
E-mail：info@nceinc.co.jp



令和4年11月現在

NEW CIVIL ENGINEERING

夢ある地域の未来をともに創る 総合建設コンサルタント



ひと・社会・未来
エヌシーイー 株式会社

<http://www.nceinc.co.jp>

価値創造 先見的提案 地域密着



代表取締役社長 大平 豊

PHILOSOPHY

激甚化・頻発化する自然災害の脅威に対する安心・安全の確保、加速化する社会資本の老朽化、人口減少社会における持続可能で暮らしやすい地域づくりなど、社会資本整備を取り巻く重要な課題に対し、私たち建設コンサルタントが担う技術や責任の領域はより幅広く、そして重要なものとなっています。

こうした状況のもと、「魅力ある地域づくり、災害に強い地域づくり」を担う「地域の総合コンサルタント」として、弊社は、1970 年創業以来の実績とこれまで培ってきた技術と信頼を更なる企業価値の向上に結び付けながら、成長を続けてまいります。

下記に掲げる基本理念のもとで、「顧客満足」と「社員満足」を両立させながら、地域社会の発展に貢献するという使命感を持って、たゆまぬ努力を続けてまいります。

市民満足

安全で質の高い社会インフラ
魅力ある地域づくり

顧客満足＝社員満足

企業・技術者としての地域社会への貢献

価値創造

自らが共に暮らす地域社会への愛着と問題意識を常に持ちながら、信頼される企業として地域価値の創造に取り組んでいきます。

先見的提案

社会経済動向を先取りした先見的視点での提案を行いながら、新たな地域社会の創造とともに事業領域の展開を進めていきます。

地域密着

スピードと総合力を備えた地域コンサルタントとして、豊かで安全な地域社会づくりを支えていきます。

技術者重視の企業経営

社会基盤部門

防災・減災に関する調査・計画・設計

社会資本の計画・設計

災害時の復旧支援

自然災害が頻発している我が国では、災害に強いインフラの整備・再構築が喫緊の課題となっています。

私たちは、道路・河川・砂防・上下水道・公園緑地などの幅広い分野で、安全・安心かつ日常生活の利便性や快適性を高めることを常に考えながら、計画・設計に取り組んでいます。

防災・減災

河川・砂防・海岸

- 河川（河道、水門、樋門、排水機場、床止工）
- 砂防（砂防えん堤、床固工、溪流保全工、土石流対策工）
- 地すべり対策、斜面对策
- 雪崩対策、防雪施設
- 海岸（護岸、突堤、波返し擁壁）



三条市：信濃川



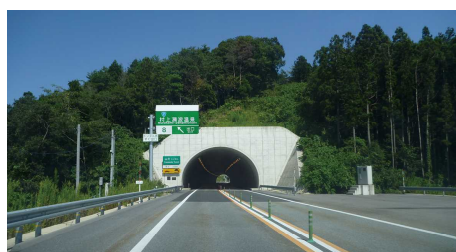
新発田川「川の十字路口」と新発田川締切水門



横倉沢第1号砂防堰堤



村上市：弁天橋



日本海東北自動車道：山元トンネル



国道17号小出地区

道路交通

道路・橋梁・トンネル

- 高規格道路（高速道路、バイパス）
- 山岳道路
- インターチェンジ
- 鋼橋、コンクリート橋
- 山岳トンネル
- 地下構造物（アンダーパス、地下横断歩道）
- 土工構造物（擁壁、カルバート、軟弱地盤対策）
- 都市内道路
- 歩道、自転車道
- 平面交差点
- 橋梁下部工、基礎工
- トンネル附属施設



県道岩船港線



紫竹山インターチェンジ



鳥屋野横断歩道橋

生活

ライフライン

- 電線共同溝
- 上水道
- 下水道
- 下水処理場

都市・生活環境

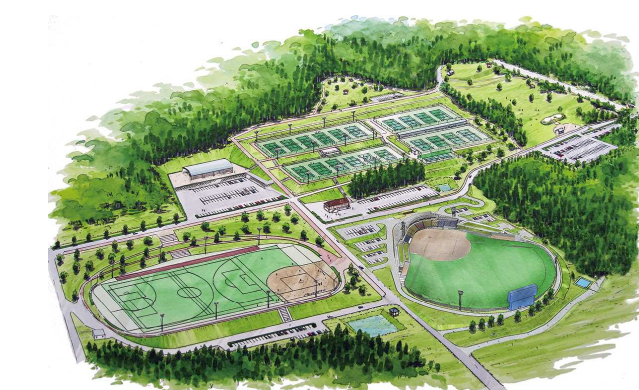
- 都市公園
- 河川緑地
- 住宅団地
- 流通団地
- 道の駅
- 駐車場
- 公益施設（保育園、公民館等）



新潟市中央区：版画通り（電線共同溝）



新潟市秋葉区：石油の里公園



南魚沼市：大原運動公園

新たな取り組み

- プロジェクトマネジメント、監理支援、CMなど
- 3次元モデルを用いた設計（CIM）

CM：コンストラクションマネジメント(Construction Management)の略。建設生産・管理システムのひとつで、コンストラクションマネジャーが技術的中立性を保ちつつ、発注者に代わり、設計・発注・工事の各段階での品質・コスト・スケジュールなどの各種マネジメント業務をおこなう方式のこと。

災害復旧

災害調査・復旧設計

- 平成12年『7月豪雨水害』：能代川災害復旧
- 平成16年『7.13水害』：刈谷田川災害復旧
- 平成16年『新潟県中越地震』：芋川砂防施設災害復旧、国道17号災害復旧、柏崎高浜堀之内線災害復旧
- 平成19年『新潟県中越沖地震』：信濃川堤防緊急点検、国道8号災害復旧
- 平成23年『新潟・福島豪雨』：五十嵐川・羽根川・塩谷川・阿賀野川等災害復旧、十日町地区県道災害復旧、土石流災害対策設計
- 令和元年『台風第19号』：千曲川災害復旧



災害調査：県道中条田川線



河川復旧：刈谷田川破堤地点



災害調査：千曲川護岸測量



被災状況：千曲川護岸

地域マネジメント部門

調査・分析

環境アセスメント

計画策定

地域政策支援

合意形成

情報システム

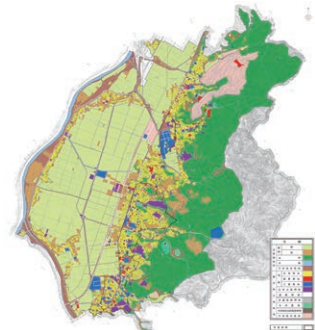
成熟型社会を迎える中で、これからは各地域が創意工夫の下で地域間競争に勝ち抜いていくことが求められます。

社会経済の将来展望をにらみながら、地域密着型のコンサルタントとして、より実効性のある計画策定や市民合意形成、地域課題の解決提案などを行いながら、より魅力と底力のある市民満足度の高い地域づくりを支援します。

調査・分析

都市・地域

- 都市計画基礎調査
- 各種データ分析・解析
(人口・産業・土地・建物・市場動向等)
- 国土強靱化、防災・減災



土地利用現況図(都市計画基礎調査)

環境

- 騒音・振動等生活環境調査
- 動植物等自然環境調査
- 悪臭・大気質等分布評価
- 騒音・振動等面的評価
- 災害危険度分析



河川魚類調査

道路・交通

- 自動車等交通量調査
- 将来交通量推計
- 交通流シミュレーション



交通量調査(機械観測)

市民意識調査

- アンケート調査・分析
- ヒアリング調査



市民意識調査

計画・構想

都市・地域

- 総合計画
- 都市計画マスタープラン
- 住宅・建築に関する計画
- 中心市街地活性化基本計画
- 産業経済振興計画



都市の将来像
(都市計画マスタープランの策定)

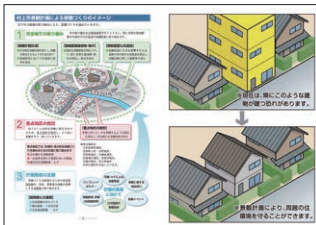
道路・交通

- 交通戦略プラン
- 地域公共交通計画
- 道路網計画



BRT導入検討

- 土地利用計画
- 都市施設に関する計画
- 景観計画
- みどりの基本計画
- 農業・農村に関する計画
- 観光振興計画
- 生涯学習計画
- 保育、福祉等に関する計画



景観計画による景観づくりの
イメージ(景観計画の策定)

環境

- 環境基本計画
- 地球温暖化対策実行計画
- 新エネルギービジョン
- 廃棄物処理基本計画



環境シンボルのイメージ
(環境基本計画の策定)

地域政策支援

評価・予測

- 政策・事業評価
- 費用対効果分析

行政支援・補助

- 都市計画決定手続き支援
- 交付金事業申請資料作成
- 開発許可手続き支援



用途地域変更案(都市計画決定手続き支援)

施策・制度提案

- まちづくり条例・制度等策定
- 新たな取り組み提案
低炭素社会、再生可能エネルギー、
地域防災、高齢社会



新たな取り組み提案

ITS: 高度道路交通システム(Intelligent Transport Systems)の略で、最先端の情報通信技術を用いて人と道路と車両とを情報でネットワークすることにより、道路交通が抱える事故や渋滞、環境対策など、様々な課題解決を目的に構築する新しい交通システムのこと。

ICT: 情報通信技術(Information and Communication Technology)の略で、ITとほぼ同様の意味で用いられるもの。国際的にICTが定着していることなどから、日本でも近年ITに代わる言葉として広まりつつある。

合意形成

市民参加

- ワークショップの企画・運営
- 委員会・懇談会等の支援
- シンポジウム・講演会等の運営
- 各種イベント開催支援



ワークショップの運営

コミュニケーションデザイン

- ポスター・チラシ・看板作成
- ガイドブック・パンフレット作成
- ホームページ作成
- イベント企画・運営
- ハザードマップ、啓発資料作成

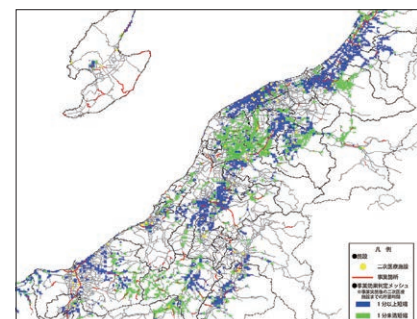


ガイドマップ・ホームページの作成

情報システム

データベース構築・分析

- 管理データベース作成・更新
- GIS活用による都市解析
- 交通事故データ分析



道路整備効果検討(GIS活用)

ITS・ICT活用

- 自動車プローブデータ解析
- 交通渋滞状況分析
- ビッグデータ解析による交通対策



GPSデータ解析

ストックマネジメント部門

点検・調査

分析・診断

データベース・GIS

長寿命化計画策定

補修・補強設計

維持管理

高度成長期に大量に整備された橋梁や道路構造物、ライフラインなどの社会資本が一斉に更新時期を迎えようとしています。今後、既存の施設を有効に活用しながら長寿命化をはかる視点で適切に維持管理していくことが求められます。

施設の点検調査から診断、ライフサイクルコストを踏まえた長寿命化計画の検討、補修・補強設計、維持管理などを、地域密着型コンサルタントとしてフットワークを活かしながら継続的かつ包括的にサポートします。

点検・調査

道路・公共施設の点検・調査

- 橋梁
- トンネル
- 舗装
- 洞門・防雪施設
- 標識・照明施設
- 防災施設（雪崩柵・法面工）
- 河川施設
- 海岸施設
- 公園施設
- 下水道施設
- 公共建築物



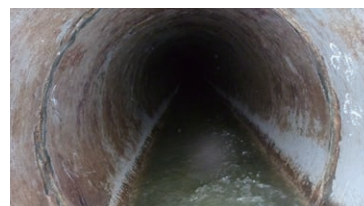
橋梁点検車を用いた点検



公園施設触診点検



高所作業車を用いた点検



下水管路目視点検



IRI 機器搭載車両による舗装点検



IRI 舗装点検による点検記録

IRI：国際ラフネス指数(International Roughness Index)の略で、世界共通指標として、世界銀行により提案された乗り心地の指標である。平坦性データとの関係があり、舗装道路と未舗装道路などを統一した評価で表現できる指数である。

FWD：舗装たわみ測定装置(Falling Weight Deflectometer)の略で、舗装に動的な衝撃を作用させたときのたわみ量を計測し、そのたわみ量から舗装の構造的な健全度を評価することができる。

分析・診断

詳細調査・分析・診断

- 路面空洞・FWD・トンネル背面空洞調査
- コンクリート構造物のはつり調査・磁気（鉄筋）探査
- 鋼製構造物の磁粉探傷調査・板厚計測
- コア採取による強度・中性化・アルカリ骨材反応試験
- 耐震診断・健全度（劣化）診断
- 走行画像データ解析・診断



コンクリートはつり調査



構造物コア採取

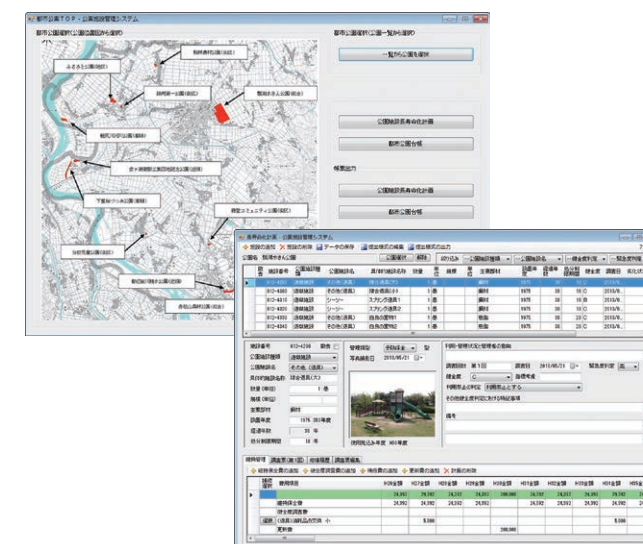
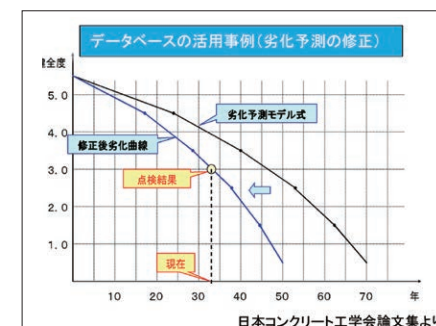


トンネル坑内走行画像計測

計画

データベースを活用した維持管理計画

- データベース構築・更新
- GIS技術による施設台帳整備
- 長寿命化計画策定



公園施設管理機能を有した長寿命化計画システム

設計

補修・補強設計

- 橋梁
- トンネル
- 舗装
- 洞門・防雪施設
- 標識・照明施設
- 河川施設
- 海岸施設
- 公園施設
- 下水道施設
- 公共建築物



水路トンネル内面補強



PC桁外ケーブル補強・橋脚部RC巻き立て耐震補強



落橋防止設置・橋脚部炭素繊維巻き立て耐震補強

新たな取り組み ●ISO55000シリーズに沿ったアセットマネジメントシステム など

目指す社員像

幅広い見識と地域への情熱を持った人

地元、ボランティア、学校など、多様な形で地域社会との関わりを持つことで、より「幅広い視野」と「思いやり」を持った人間として成長しながら、併せて自らが暮らす地域の課題を認識して的確な提案ができる技術者像を目指しています。地域社会の発展のため情熱を持って仕事に取り組み、技術者としての力を地域へ還元できるような良好な互恵関係を目指します。

多様な技術分野に対応できる人

地域における総合建設コンサルタントとして、道路、橋梁、河川、環境、都市計画など、多様な技術分野の経験を蓄積することで、幅広い業務に対応できる技術者としての成長を目指しています。また、技術分野と併せて、地域への精通度、素早いレスポンス、迅速な対応なども重要な要素と考えています。

自ら考え行動する人

物事に積極的に挑戦していく精神と向上心を常に持ちながら、会社経営のベクトルを自らが理解した中で主体的に判断して行動できる自律型の技術者像を目指しています。また、風通しの良い職場環境のもとで、社員同士がお互いに高め合いながら存分に力を発揮することで、仕事を通じて人間として「自己実現」できる環境づくりを目指しています。

人材育成

- 資格取得(技術士、RCCMなど)のための外部講習会、社内勉強会、受験料補助
- 専門技術に関する社内勉強会
- 社内技術発表会
- 海外研修旅行
- 外部研修会
専門技術講習、現地見学、各種セミナー、組織リーダー研修、タイムマネジメント研修 など
- 研究発表、学会発表 など

地域社会に貢献する技術者として、また人間としても大きく成長していけるよう、各種教育制度や支援体制などによりバックアップをしていきます。



健やかな生活

- 効率的な業務推進に関する取り組み
- 残業時間削減のための取り組み
- 社内レクリエーション
(フットサル、ゴルフコンペ等)
- 医療サポート体制による健康管理
産業医による健康相談、メタボ予防・改善
定期健康診断、予防接種、救命救急講習など

社員が心身とも健康で、やりがいを持って働き続けられるよう、ワークライフバランスや健康管理に配慮した環境づくりを行っています。



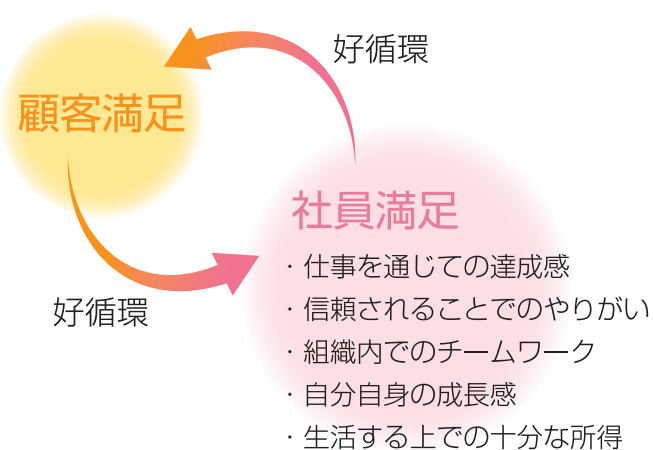
キャリアアップモデル

(イメージ)

- 25歳 JABEE認定又は技術士補取得
業務担当者(業務の部分的な担当)
- 35歳 技術士取得(入社後10年程度)
業務主担当者(業務の中心的役割)
- 45歳 管理技術者(業務の総括的監理)
組織マネジメント

顧客満足と社員満足 の好循環を目指します

会社の経営方針を理解した「社員満足度」の高い社員たちが、その場の状況に応じて自らの判断で主体的かつ臨機応変に行動することで、結果としてその対応が「顧客満足」につながっていくような好循環を理想としています。



社会との調和

地域との連携

企業や社員は地域社会の一員であるとの認識のもと、地域の多様な主体との交流・連携や環境負荷低減などに配慮していきます。

環境美化活動

雑草が目立つ美咲こもれびの道、本社建物沿い周辺を、夏から秋にかけて植樹帯の除草、清掃を実施。



学校との連携

インターンシップを通じた人的・技術的交流や大学研究機関への協力支援、小中学校との連携などを実施。

全国良寛会支援

江戸時代後期に禅僧として多くの逸話や戒語を残した良寛和尚の思想を現代に伝える全国良寛会の活動を支援。



環境負荷の低減

ISO14001取得により各種取り組みを実践するとともに、本社屋に太陽光発電システムの設置、事務所内照明のLED化、エコカーの導入などを実施。



日本防災士会支援

防災・減災活動を通じて安全なまちづくりを推進するNPO法人日本防災士会の取り組みを支援。